

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	「水と緑の創造」事業費					
担 当 課 係 名	農 林 課		林 務 係		作成者	田口幸栄
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	特色ある資源を活かした産業創造のまち				総合計画の ページ
	基本計画	森林の整備と林業の振興				
	主要施策	森林整備の意識高揚				66
予 算 費 目	一般 会計	6 款 農業費	2 項 林業費	2 目 林業振興費		
事 業 期 間	平成 13 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分		継続	
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等	秋田県水と緑の森づくり税事業					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	市民並びに都市住民
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	森林ボランティアの協力を得ながら森林を整備し、合わせて地域住民とのふれあいを通じて都市と農村の交流を活性化させる。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	春と秋の年2回、森林作業体験交流会を実施する。内容としては、都市住民が地域住民とともに仙北市の造林地や雑木林を下刈・除伐・間伐・伐倒木を搬出するなど交流する。

【事務事業の推移】

（単位：千円）

		項目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	延べ参加者	人	122	245	
	成果指標					
投下コスト	項目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)			1,592	1,955	
	財源内訳	国庫支出金		710		
		県支出金			977	
		地方債				
		その他				
		一般財源		882	978	
	人件費 (B)		—	1,571	3,228	
		職員数	—	0.2	0.4	
		職員平均人件費	—	7,853	8,071	
		(A) + (B) 投下コスト	—	3,163	5,183	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	25,926	21,155	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	99	165	

【事務事業の今までの成果】

平成13年から行い、これまでに延べ2161人が交流し、都市と農村の交流から物販へと拡大している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	国では、今後もこうした活動事業を推進していくと思われる。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	参加者の大半はリピーターである。会を重ねた西木地区では、地区住民との民間交流が活発となっている。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	農林業の新たな振興策として、非常に有効である。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

1回の交流会で都市部の参加者が80人位となってきたが、受け入れ態勢としてはこの位が適正と思われる。今後は、田沢地区の造林地や雑木林を会場に地元の交流会参加者の範囲を広げて行きたい。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	都市住民と市民の森林作業を共同で行うなど森林づくりの意識高揚のため引き続き必要な事業と考える。

一次評価診断図

